

⑤ 爪甲の変化

爪甲に変形、粗造化、混濁、萎縮や色素沈着を生じることがある。高度になると爪甲の脱落も起こる。



グレード2		図21
薬 剤	カペシタビン	
疾 患	大腸がん	
所 見	爪甲に粗造化、混濁、萎縮、変形がみられ、爪郭部に紅斑を伴う疼痛がありグレード2と判定した。	

⑥ 爪下線状出血斑 (subungual splinter hemorrhage)

キナーゼ阻害薬を投与中、爪先に無痛性の爪下線状出血斑が現れることがある。手指の爪にみられることが多く、足趾の爪には稀である。



写真: 参考資料文献5より(<http://www.thelancet.com>)

グレード1		図22
薬 剤	ソラフェニブ	
疾 患	腎細胞がん	
所 見	爪甲下に線状の小出血斑がみられる。無痛性のためグレード1と判定した。	